

□議員名：伊場 勇

1 庁舎内における政党機関紙の配達・集金・勧誘について

論点	把握していれば、現在までに庁舎内において配達・購読されている「政党機関紙の種類」、「購読職員数」及び「職員の内訳」については把握できているか。
回答	現在、市役所本庁舎内においては、しんぶん赤旗、公明新聞の2紙を確認している。そのうち、しんぶん赤旗については執務エリア内での配達・集金を、公明新聞については執務エリア外での集金行為を確認しており、各支所も同様と拝察されるが、山陽総合事務所においては行われていない。

論点	庁舎内における政党機関紙の配達・集金・勧誘について、現在庁舎管理上どのように対応しているのか。
回答	庁舎内での物品の販売、宣伝、その他の商行為又はものの勧誘若しくは寄附の募集その他これらに類する行為を行う場合、山陽小野田市庁舎管理規則第7条第2項の規定により許可申請書が提出された際にはその申請内容を精査し、行為を許可する場合は許可証及び胸章を交付しているが、政党機関紙の配達・集金・勧誘については、現時点ではいずれの政党からも申請書の提出は受けていない。

論点	二元代表制における議会議員が、職員に対して政党機関紙の勧誘を行うことは、議員による職員への心理的強制を疑われかねない。現職の市議会議員及び元市議会議員が、庁舎内において職員（特に管理職）に対して政党機関紙の勧誘を行った事実があったのか。
回答	現職及び元市議による政党機関紙の勧誘事実については、認識している。また、勧誘を受ける職員によって、考え方、あるいは受け止め方が異なるが、心理的圧力を感じる職員はいるものと推察される。

論点	まずは詳細な実態調査が必要と思うが、どう考えているか。
----	-----------------------------

回答	市民の信頼を確保する観点から調査を行う。令和5年2月末ぐら いまでには取りまとめたいと考えている。調査結果について議会 としての意向があれば、開示したい。
----	---

2 子育て支援の充実について

論点	自宅や学校とは別の子供たちが安心して過ごせる環境である「子 供の第三の居場所」を充実させるべきではないか。
回答	日本財団等からの支援も有効な一助となると考えている。また、県 の取組の補助制度等の情報発信に努め、地域の力や知恵をお借り しながら、協創によるまちづくりを推進していきたい。

論点	「子ども医療費助成制度」について現在、本市が単独で中学生まで の自己負担分を全額補助しているが、「所得制限」を設けている。 子育て世帯への支援が必要と考えるのであれば「所得制限撤廃」を するべきではないか。
回答	令和5年度から小学1年生から中学3年生まで「子ども医療費助 成制度」の所得制限を撤廃し、自己負担分は全額市が負担する準備 を進めている。

論点	本市は令和4年度から「出産祝金」、「入学祝金」を創設しているが、 国においても妊娠・出産した女性を支援する「出産準備金」を令和 5年1月から支給する方針を明らかにしている中で、更なる施策 の拡充はでないか。
回答	中学校入学祝金の創設に向けて準備を進めていきたいと考えてい る。